

- ① ・若い世代の療養生活を全方位から支える AYA 支援チームの活動がスタート  
・新任のご挨拶  
・新生児・小児用ドクターカーの披露会を開催
- ② ・ミニニュース  
・健康講座「多血症について」

- ・ナディック通信
- ・病院からのお知らせ
- ・特定基金 医学部附属病院支援事業へのご協力をお願い
- ・かわらばん HPのご案内

名古屋大学医学部附属病院

理念 ● 診療・教育・研究を通じて社会に貢献します。

- 基本方針 ● 1. 安全かつ高度な医療を提供します。 2. 優れた医療人を養成します。  
3. 次代を担う新しい医療を開拓します。 4. 地域と社会に貢献します。

〒466-8560 名古屋市長和区鶴舞町65番地 TEL 052-741-2111 (代表)

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/hospital/>

ホームページで「かわらばん」のバックナンバーをご覧いただけます



# TOPICS ① 若い世代の療養生活を全方位から支える AYA 支援チームの活動がスタート

名大病院では若い世代の患者さんを支える「AYA 支援チーム」が発足し、活動をスタートさせます。活動の意義や内容について、チームのメンバーである小児科の高橋義行教授、消化器外科の栗本景介病院助教にお話を伺いました。



▲ AYA 支援チームのみなさん

AYA 支援は現在、患者サービスの重要環として行われていますが、その重要性が認識されつつあり、愛知県でも徐々に気運が高まってきました。当院は地域の拠点病院としての気概をもって AYA 支援でもリーダーシップを取り、地域に活動を広めていきたいと考えています。

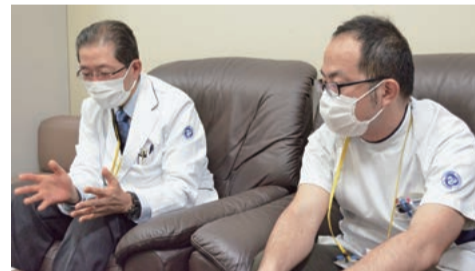
AYA 世代の患者が少ない科では、AYA 世代特有の課題や悩みに気づかないことがあるかもしれません。その点、支援チームには、子どもに寄り添う CLS や社会復帰を助ける MSW、心の専門家である臨床心理士も参加し、疾患以外の悩みを相談しやすい体制です。産婦人科の医師もメンバーの一員であり、精子や卵子の保存など妊娠性温存の相談に対応しています。支援チームを通じて AYA 世代への対応のノウハウを各科と共有することで、高度な医療だけでなく、療養生活でも「名大病院で良かった」と言ってもらえる病院を目指していきます。

**多職種でチームを組み、全科横断的に活動**  
AYA 支援チームは医師、看護師、医療ソーシャルワーカー (MSW)、チャイルドライフスペシャリスト (CLS) など多職

種で活動を行っています。今回は、まず AYA 世代のがん入院患者さんを対象に、スクリーニングシートを用いて療養の悩みなどを把握するシステムを構築しました。そこで問題があれば病棟で対応し、必要に応じて AYA 支援チームが介入します。支援チームは全科横断的に活動し、問題に対応できる部署につなぐハブとしての役割を担います。

**AYA 支援をリードし、療養生活でも選ばれる病院に**

AYA 世代の患者が少ない科では、AYA 世代特有の課題や悩みに気づかないことがあるかもしれません。その点、支援チームには、子どもに寄り添う CLS や社会復帰を助ける MSW、心の専門家である臨床心理士も参加し、疾患以外の悩みを相談しやすい体制です。産婦人科の医師もメンバーの一員であり、精子や卵子の保存など妊娠性温存の相談に対応しています。支援チームを通じて AYA 世代への対応のノウハウを各科と共有することで、高度な医療だけでなく、療養生活でも「名大病院で良かった」と言ってもらえる病院を目指していきます。



▲お話を伺った高橋教授 (左)、栗本病院助教 (右)

## 新任のご挨拶

外科系集中治療部長 / 講師 鈴木 章悟

令和5年4月1日付で外科系集中治療部長を拝命いたしました。紙面をお借りしてご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルス関連で有名になった ICU (集中治療室) という部門になりますが、我々は新型コロナウイルスへの対応は行わず、外科系診療科の治療を支えています。大学病院の使命である高難度手術、重症疾患をもつ



た患者さんの手術前後に必要な高度な治療を提供しています。皆様、安心して手術を受けることができる環境を整えていきますので、よろしくお願いいたします。

## 新生児・小児用ドクターカーの披露会を開催

2023年3月18日に新生児・小児用ドクターカーの披露会を開催しました。

披露会では小児科や小児外科、総合周産期母子医療センターの取組みについての紹介とドクターカーや装飾を施しました CT・PET 室の見学会を実施しました。

当日はあいにくの天気にも関わらずご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

今後も当院は、地域医療、日本の医療を支える病院として全職員一丸となって力を尽くしてまいります。



新生児・小児用ドクターカー披露会

ミニニュース

令和4年度海上救急慣熟訓練を実施

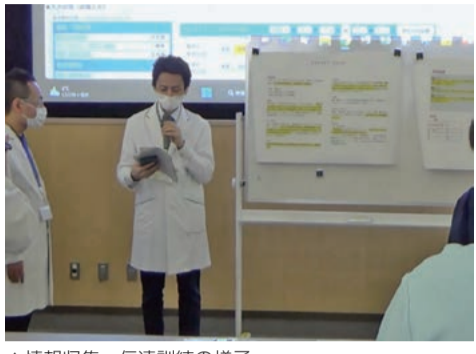
令和5年3月20日、当院中央診療棟A屋上ヘリポートにおいて、令和4年度海上救急慣熟訓練が行われました。海上救急は、海上の傷病者を救う世界唯一のシステム「海の救急医療」で、当院は海上救急協力医療機関になっています。当日は海上保安庁のヘリコプターによる離発着訓練、当院救急科とヘリ搭乗員の海保潜水士による傷病者の受入れ・引継ぎ訓練などが、実際の資器材と搬送ルーフトを用いて実践的に実施され、有事に備える効果的な訓練となりました。



▲有事に備える実践的訓練

令和4年度病院災害訓練を実施

令和4年度病院災害訓練を令和5年2月22日に当院中央診療棟A3階講堂にて実施しました。新型コロナウイルス感染症対策として、昨年度同様、参加人数を制限しての訓練になりました。災害対策委員による訓練についての説明の後、実際の災害時を想定して災害対策本部の立ち上げを行い、院内の情報収集・伝達訓練、広域災害救急医療情報システム（EMIS）を用いた外部との情報収集・発信訓練を実施し、有事の対応に問題ないかを確認しました。



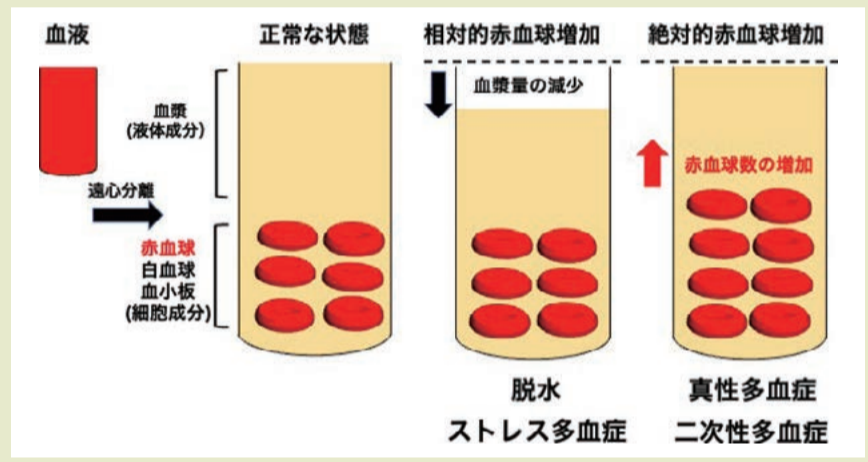
▲情報収集・伝達訓練の様子

健康講座

多血症について

血液内科 講師 石川 裕一

健康診断などで多血症の疑いとのことで血液内科を受診する方が少なくありません。多血症とは、血液中の赤血球の量が基準値より多くなる状態で、血栓症を起しやすくなり、心筋梗塞、脳梗塞などの原因となることがあります。脱水状態や生活習慣病などによる血液の液体成分である血漿の減少からなる相対的赤血球増加症（いわゆるストレス多血症）と、赤血球の数自体が増加している絶対的赤血球増加症に大半され、後者は更に真性多血症と二次性多血症に分けることができます。真性多血症は血液細胞のもととなる造血幹細胞などで遺伝子異常が生じて、赤血球のみならず、白血球、血小板の増加も認められることがあります。なかでも、赤血球の増殖を促進するホルモンであるエリスロポエチンによる刺激にかかわる JAK2 遺伝子の異常が約95%で認められ、エリスロポエチンの刺激に依ることなく赤血球が増殖するようになります。一方で、二次性多血症では、喫煙、睡眠時無呼吸症候群、慢性閉塞性肺疾患、エリスロポエチンを産生する腫瘍など、血液以外の病気を原因とし、ほとんどが原因となった病気の治療により赤血球数の正常化が認められます。多血症の種類によって、血栓症の危険性、治療方針も異なりますが、いずれにおいても、血栓症のリスクとなる生活習慣病のコントロールも重要となります。



病院からの お知らせ 提案書からの改善報告

本院では、患者さんへのサービス・アメニティー等の満足度向上を目指し、患者満足度委員会において、院内に設置してある提案箱へ投函された提案書のご意見から、サービス改善策を検討し実施しています。

現在、1ヶ月あたり約50件のご提案をいただいております。提案書は、回収次第、現場で対応を進めるとともに、その後開催される委員会にて1件ずつ検討することで、院内のサービス向上に努めています。

サービス改善における主な対応については、外来棟1階中央待合ホールに設置されているモニターへ掲示しております。

患者さんが利用する設備や機器などは、日々の点検や定期的な更新を実施しておりますが、2022年度下半期では、特に以下の改善を実施しました。

- 〈院内における主な設備面の改善〉
- 1) 外来棟1階の各受付への案内表示を改修
  - 2) 外来棟3階の中待合入口に案内表示を追加



▲受付までの導線を分かりやすく表示 (外来棟1階)

Nagoya Disease Information Center

**ナディック通信**

肝疾患診療連携拠点病院 ホームページ

**ナディックの利用休止について**

患者情報センター（広場ナディック）は利用を休止しています。肝臓病教室については引き続きオンライン（名大病院公式 YouTube チャンネル）で公開しています。当院・肝疾患診療連携拠点病院ホームページのお知らせ欄からもご確認いただけます。がん患者さん向けの「ウィッグ・頭皮ケア相談」については外来棟1階「地域連携・患者相談センター」にてがん相談員が随時対応しております。

(問い合わせ先 地域連携・患者相談センター 052-744-2663)

特定基金 医学部附属病院支援事業へのご協力のお願い

当院では本事業を通じて、診療環境の充実、患者さんへのサービスのさらなる向上、先進的な臨床研究の推進を進めてまいります。皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。詳細は、ホームページまたは外来棟各階に置かれているパンフレットをご覧ください。 URL : <https://www.med.nagoya-u.ac.jp/kikin/hosp-kikin/>

QRコードでもアクセスできます!



禁煙のお願い

患者さんの健康をサポートすべき医療施設として、病院敷地内の全面禁煙を実施しています。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。